

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県秩父市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	対象	透訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
64,540	10,605	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

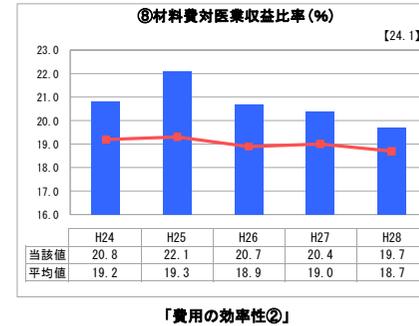
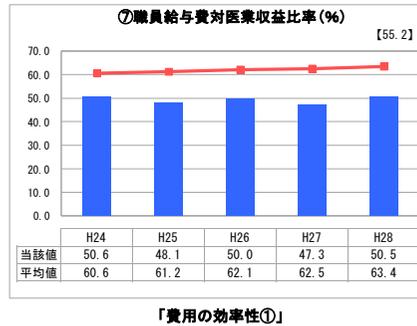
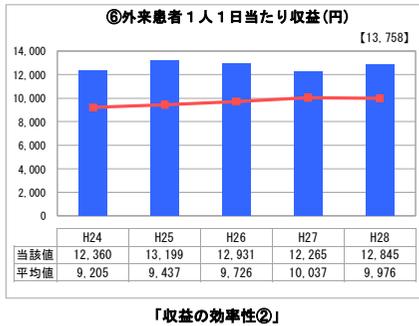
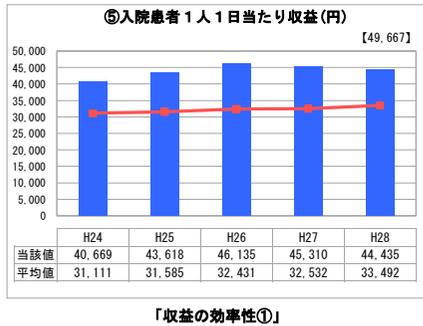
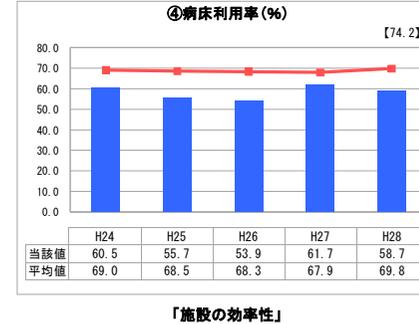
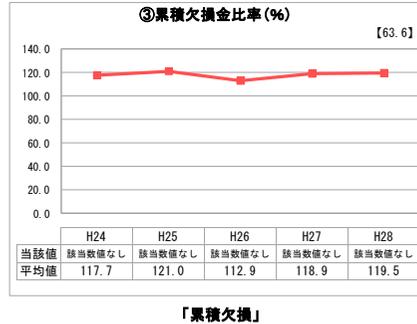
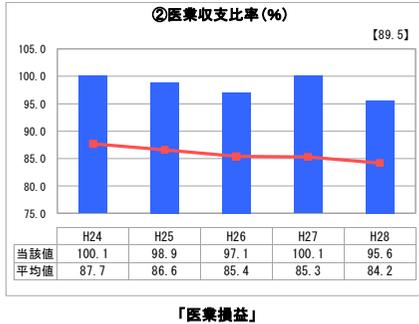
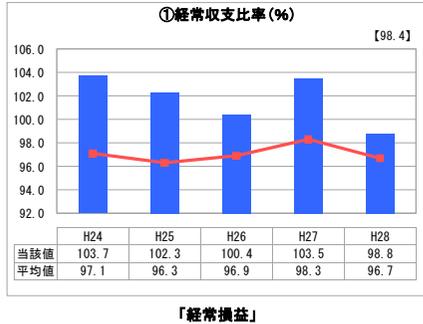
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
165	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	165
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
136	-	136

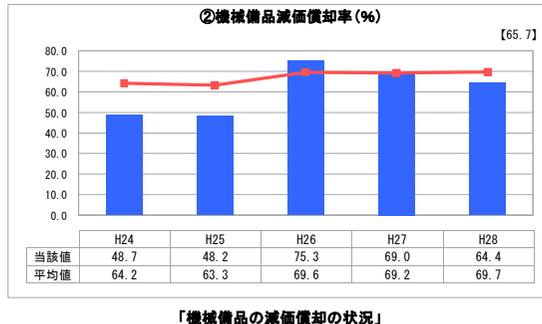
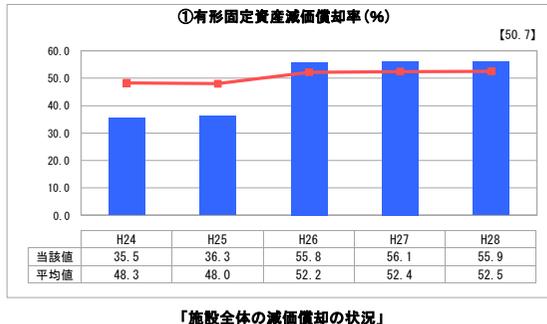
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、救急医療、高度医療、地域に不足する医療の充実に取り組んでいます。救急医療では年間190日以上担当し、救急日に合わせて小児初期救急も行っています。高度医療ではMRIやCT等の医療機器の更新を行うなど医療環境の整備を図っています。また、圏域では産科医療機関が1診療所のみとなっており、産科医療を確保するため、当院から2名の助産師を派遣しています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

累積欠損金がなく、経営は比較的安定していると言えますが、経常収支比率、医業収支比率ともにH28年度は100%を下回る結果となり、単年度収支で損失を計上しています。病床利用率では1病床が閉鎖されており、29床が休床となっているため、平均値を下回っている状況にあります。また、材料費対医業収益比率ではジェネリック医薬品への切り替えが進んでいなかったことなどにより、平均値より高い傾向にあります。収支のバランスが崩れている傾向が見られるので経営改善に向けた取組が必要となっています。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値を上回っており、また、数値も増加傾向にあります。一方で、器械備品減価償却率については、医療機器の更新を定期的に行っており、平均値より低い傾向にあることから、建物の老朽化が進んでいることが言えます。1床当たり有形固定資産は平均値を下回っており、過大な投資を行っていないと言えますが、建物の老朽化に対する対策が求められています。

### 全体総括

経営の健全性・効率性にある病床利用率について、平均値より低い原因として現在閉鎖中の病棟があることが挙げられます。地域医療構想を踏まえ、地域に必要な医療が提供できるよう、その利用方法について検討するなど、活用策を図っていく必要があります。また、材料費対医業収益比率は当院がDPG対象病院となっており、医薬品、診療材料に係る経費も包括算定されるため、ジェネリック医薬品の積極的な採用を推進していくなど経費削減を図り、比率を下げていく必要があります。老朽化の状況では、老朽化が進み、減価償却上の耐用年数39年に近づいてきている建物もあることから、更新について検討していかなければなりません。その際、過大な投資をせず、更新後も将来の減価償却費の増大が負担にならないよう、計画的に行っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。